

令和6年1月10日	
資料提供	
担当課(室)	かつらぎ町 生涯学習課
担当者	文化振興係 前田 雅子
電話(代表)	0736-22-0303 (内線 3021)



大人が楽しむおはなし会

いつもは子どもたちのために行っているおはなし会を、大人の方にも楽しんでもらおうと思い、実施する取り組みで、今年で2年目となります。忙しい日常を離れて心休まる温かい時間を過ごしていただきたいと思います。

今回は歌って♪笑って♪心も体もぽっかぽかになってもらえるような内容になっています。

- 日時 : 令和6年 2月17日(土)
午後 1時30分から3時
- 場所 : かつらぎ総合文化会館 3階 研修室
(住所) かつらぎ町丁ノ町2454
(電話) 0736-22-0303
- 対象 : 中学生以上 30名程度
- 入場 : 無料(要整理券)
*1/21(日)から図書館で整理券配布
- 内容 : おはなしボランティア「にじいろ」による
絵本のおみせかせや朗読など
*詳細別紙添付
- 主催 : かつらぎ町立図書館

令和5年度図書事業

絵本のおみせかせと朗読の集い

第2回大人が楽しむおはなし会
～ 歌って♪笑って♪心も体もぽっかぽか ～

【日時】 令和6年2月17日(土)
午後1時30分～3時

【場所】 かつらぎ総合文化会館 3階 研修室

【対象】 中学生以上 30名程度

【費用】 無料

【申込み】 1月21日(日)から図書館で整理券配布

*このチラシに基づき申し込みは、郵送による申し込みを承ります。ご了承ください。

★ プログラムの一部をご紹介します! ★

「なんが友はなしてこしかへがな」
北 島 介(文) 木田 久(絵)

「ながーい話をしてやうかな」とい
う語りを知る。漢語の「書でなし
話」。漢文といかたおそれる言葉が
心算的な書物。2話を、生きると
した漢語と味わい深い絵で収録。

「じごくのそらべえ」
田島 政幸(作)

いめちを奪取してしまっ
た悪魔のそらべえは、
地獄へ送られてしまい、
悪魔地獄や地獄の裏、
群の山に投げ込まれ
まされた。

「こいちゃん、ぼく友をいっしょに
せん」
橋本 昌幸(文)
橋本 リュウジ(絵)

こんなにおかしくて素敵な書物
には、そのお目にかかると
ん、昭和30年代の下町を舞台
にした、漢字のユーモア小説。

おみせかせ 朗読ボランティア「にじいろ」
町立図書館 TEL. 22-0303(内線3021)

見どころ・ポイント

絵本を楽しむのは子どもだけじゃない。大人の方にもぜひ絵本の楽しさを味わって欲しいです。今回は、笑いヨガや歌も取り入れ、とっておきの面白い話もあります。

第2回大人が楽しむおはなし会

～ 歌って♪笑って♪心も体もぽっかぽか ～

【日時】令和6年2月17日(土)

午後1時30分～3時

【場所】かつらぎ総合文化会館 3階 研修室

【対象】中学生以上 30名程度

【費用】無料

【申込み】1月21日(日)から図書館で整理券配布

*プログラムにつきましては、変更となる場合がございますので、ご了承ください。

★ プログラムの一部をご紹介します!! ★

笑いヨガや歌もあり

「なんげえはなしっこしかへがな」

北 彰介(文) 太田 大八(絵)



「ながーい話をしてやろうかな」という語りで始まる、津軽の「果てなし話」。綿々とりかえされる言葉が紡ぐ滑稽な昔話全7話を、生き生きとした津軽弁と味わい深い絵で収録。

よみきかせ
主催・お問い合わせ

「じごくのそうべえ」

田島 征彦(作)



いのちを落としてしまった軽業師のそうべえは、地獄へ送られてしまい、糞尿地獄や熱湯の釜、針の山に投げ込まれますが…。

おはなしボランティア「にじいろ」
町立図書館 TEL 22-0303(内線3021)

「にいちゃん、ぼく反省しきれません」

柚木 真理(著)

藤枝 リュウジ(画)



こんなにおかしくて素敵な家族には、そうお目にかかれません。昭和30年代の下町を舞台にした、珠玉のユーモア小説。